

令和5年度 第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和5年6月22日(木) 午後2時～午後4時25分

2 開催場所 相良庁舎3階 会議室

3 出席者

【牧之原市図書館協議会委員】

鈴木 善彦  
増田 曜子  
岩崎 陽子  
大石 武晴  
佐藤 寛  
柴本 久美子  
武田 てるみ  
水嶋 みゆき

【事務局】

教育長 橋本 勝  
教育文化部長 内山 卓也  
社会教育課長 永野 智芳  
図書館係長兼図書館長 八木 いづみ  
主任 水野 秀信  
主事 望月 安里  
会計年度任用職員 芹澤 芳里

4 傍聴者 4名

5 議題

【報告事項】

- (1) 令和4年度事業実績について
- (2) 令和5年度図書館事業について
- (3) 図書館アンケートの結果について

【協議事項】

- (1) 牧之原市立図書館基本計画の評価について
- (2) 改修する図書館の名称及び愛称について

## 6 内 容（要点記録）

### 教育長挨拶

令和5年度も4分の1が過ぎ、榛原図書館リニューアルに向け、計画的に準備を進めている。懸念事項もあるがこれまでの図書館協議会では活発な協議がされており、本日も事務局からの報告事項や協議事項についてそれぞれの立場から積極的に意見を出していただきたい。その意見や議論がこれからの図書館業務の改善や円滑な運営につながっていく。

### 【報告事項】

#### ◎事務局説明要旨

##### （1）令和4年度図書館事業実績について

来館者数について、図書交流館は令和3年度から二割近く減少している半面、榛原図書館は二割ほど増加している。これは図書館オンラインシステムの予約受取に利用者が使い慣れてきたことが考えられる。

図書購入に関しては、購入冊数・金額ともに増加した。令和3年度、年間5万人の来館者予想を大幅に超えて11万人の方に来館して頂けたことから蔵書を整える動きにつながった。

個人貸出冊数は伸び悩みが見られる。近隣市町の図書館では貸出上限を10冊としており、本市においても貸出上限の7冊を10冊に増やせるか検討していきたい。

##### （2）令和5年度図書館事業について

図書館の職員数は昨年度から引き続き12名の体制で行っていく。昨年度との違いは、専任の図書館長が退職し、会計年度任用職員が一人増加している。今年度は新館改修工事の関係で、委託も含め整備を進めていく。

改修工事は年末に完了し、年明けから開館準備作業に入る予定。榛原図書館で使っていた書棚等の什器は、使えるものはリメイクして利用する。新館用の資料は、複数の図書による選書会議を行い計画的に進めている。

今年度開催する図書館協議会では、図書館基本計画の改訂について意見をいただきたい。新しい図書館の貸出冊数や開館時間等については事務局で検討を行い、今年度中に市教育委員会で図書館条例施行規則を改正して決定する。

#### ◎委員からの主な意見

（意見）資料1、来館者数の減少が気になる。初年度は目新しさもあり来館者の増加は理解できるが、その後どう定着してもらおうかが重要である。アンケートからは新図書館に期待しているとわかるため、来館者数の維持・増加が大切だと思う。榛原図書館の資料費の増額は感謝する。しかし市立図書館としてはまだ資料費・人員等改善が必要ではないか。

(意見) 図書交流館の貸出数の減少、資料費の増減に対してコメントのある方は発言をお願いします。

(質問) 蔵書の寄付、寄贈についてはどのような規定がされているか。

(事務局) 寄贈資料受入基準があり、資料1の寄贈受入数のおり積極的に受け入れている。多少古くても資料の状態が良く、価値のあるものは受入をしている。

(質問) 資料1の組織について、館長が専任でなくなった理由を伺いたい。

(意見) 図書館協議会でも、専任館長は要望してきたことであり、「7つの提言」の中でも専任館長を配置するという記述があった。2年目、専任館長が実現した際には関係者一同とても喜んだ。兼任館長なった点について説明できることがあればお願いしたい。

(事務局) 図書館基本計画の中で専任館長は1つの柱だったことは理解している。図書館協議会として館長を置きたいと強く要望されているように、来年度以降は専任館長を置くことを人事担当にも要望したい。

(意見) 良い図書館にしたいという思いの中、人事上でも大変だったと思う。来年度以降ぜひ期待したい。合わせて兼任ではあるが館長個人への期待も強く、活躍を期待している。

(質問) 資料1、蔵書数の中に雑誌を含むとあるがどういう意味か。

(事務局) 統計を取る際に、合算で統計を出している。資料1の蔵書数も、数値の一部に雑誌が含まれている。統計によっては分けて計算することもある。

(質問) 交流館の来館者が二万人ほど減っている。アンケート結果から分析できることはあるのか。サービスへの要望などがあるのか伺いたい。

(事務局) 図書交流館は本を借りる事を目的としていない来館が多い。オープン初年度はまずはどんなものか行ってみよう、という利用者が一定数いたのではないかと考えられる。リピーターにならず来館者が減少したことを踏まえ、図書館の魅力の発信をしていけるよう、工夫改善が必要だととらえている。

(意見) 榛原図書館の貸出増加は図書交流館の波及効果の表れであり、図書館の良さが伝わっている部分もあると思う。また分析してほしい。

### (3) 図書館アンケートの結果について

#### ◎事務局説明要旨

新しくなる榛原図書館や今後改訂する図書館基本計画の参考にするためにアンケートを行った。特徴は図書館で行う利用者アンケートと違いWEBからの回答が可能となっており、普段図書館を利用していない人の声を拾える点である。回答の少なかった中高生世代には、市内にある高校に依頼をすることで、追加で200件ほど回答をいただき、回答総数は958件だった。

回答結果の利用頻度は月1・2利用が多い。貸出期限の2週間に合わせた利用の仕方が多いと考えられる。また利用しないという意見も多くあった。理由としては本を読まないから来ないという意見が多い。図書館の機能として、本を読む以外にも様々な機能

があることを情報発信していく必要がある。

資料の充実に関しては、一般書・児童書が多く、基本的な図書の充実が求められていた。一方で電子書籍を求める声は少なかった。

#### ◎委員からの主な意見

(意見) 利用しない方からの意見があるのが今後の図書館を考える上では貴重な意見だと思う。アンケートの中に自宅から遠いから利用しないという意見があった。子供や母から意見を聞いても遠いから行かないという声がある。子供や高齢者は自力でも交通機関を利用するのも難しい。小学校に移動図書館が来るが、小学校巡回時に大人が行く事例が少ないのでは。サロン活動やイベントを行う日に合わせて配車してもらうなどすれば利用が増えるのではないか。

(事務局) 本を届けられない人は減らすべきであり、検討していきたい。

(意見) 図書交流館は利用する学生が多いが利用者カードを持っていない。利用者カードがどの程度作成され、利用されているかがわかれば、リピート率が出せるのではないか。

(事務局) 昨年度末の利用者カード登録者数は6,921人あり、小学生はひまわり号の声かけもあるため多い。中学生は学生証があればカード登録が可能なので、学校でも声掛けをお願いしたい。

(意見) 授業の中でカード作成の声かけをしているがなかなか進んでいないようだ。

(意見) また連携して利用登録の増加に努めてほしい。

(意見) 学校では外国籍児童が一定数いる中、子供は日本語が読めても、大人が日本語を読めない事例があり、カードを作れないことがある。ポルトガル語などの申込用紙があるとありがたい。

(意見) 多文化資料の充実やサインの表示など、多文化サービスは必要だと思う。

(事務局) 現状は日本語の申込用紙のみであり、今後対応できるよう検討したい。

(意見) 市の総合計画を踏まえているように思う。多文化サービスについても検討課題となる。

(質問) 利用者カードについて、中高生はスマホの普及が進んでいる。利用者カードをスマホに取り込むような考えはあるか。

(事務局) 静岡県立中央図書館で先進事例がある。直ちに本市で行うノウハウはないが、より利便性を考えて検討したい。

(意見) 学生から静かに勉強する場所として図書館の学習室も必要とされている。スマホで便利に利用できるシステムが確立できれば利用したい学生は多いのではないかとと思う。

また、学校には外国人の学生もいるが、母語の維持ができるだけの情報量・資料が学校図書館にはない。多言語資料の収集もしてほしい。

(意見) 新聞などを見ていると昔とは図書館に求めているものが変化し、滞在型の空間

を求めているように感じる。遊びのスペースを配置するなど、図書館を地域の活性化の対象にしている。

岡山県に高梁市立図書館があるが、1階がコーヒーショップ、2階が図書館と本屋の併設となっている。利用者は頻繁に図書館と本屋の行き来をしている。利用者減少の対策として高梁市の事例は一つの鍵となるのではないかと思う。

(意見) 図書館構想に関わる大事な指摘だと思う。個人的には今回のアンケートでは居場所に支持が集まるかと思ったが、資料の充実などオーソドックスな図書館への支持を感じた。どこに軸を置くのかは難しい問題だが、新図書館もニーズの多様化にいかに対応するかが大切だと思う。

(意見) アンケート結果で司書に親切丁寧な対応を求める意見が多かったのが驚きである。すでに対応しているから今後も求めているのか、丁寧な対応がされていないから改善してほしいのか2種類あると思う。図書館職員が忙しそうにしていると声をかけづらいと感じることもある。

(意見) 図書館の職員体制も、アンケートから深く読み取るべきだと思う。親切丁寧も接遇だけなのかレファレンスを求めているのか、深く検証する必要があると思う。

#### 【協議事項】

##### (1) 牧之原市立図書館基本計画の評価について

評価結果、コメント等を資料4「図書館基本計画評価表」に記載

##### (2) 改修する図書館の名称及び愛称について

愛称選考の結果、「あるね」「いろ葉」「ひらこっと」「まなぶん」「よみにこ」(あいうえお順)の5点を選出

以上